

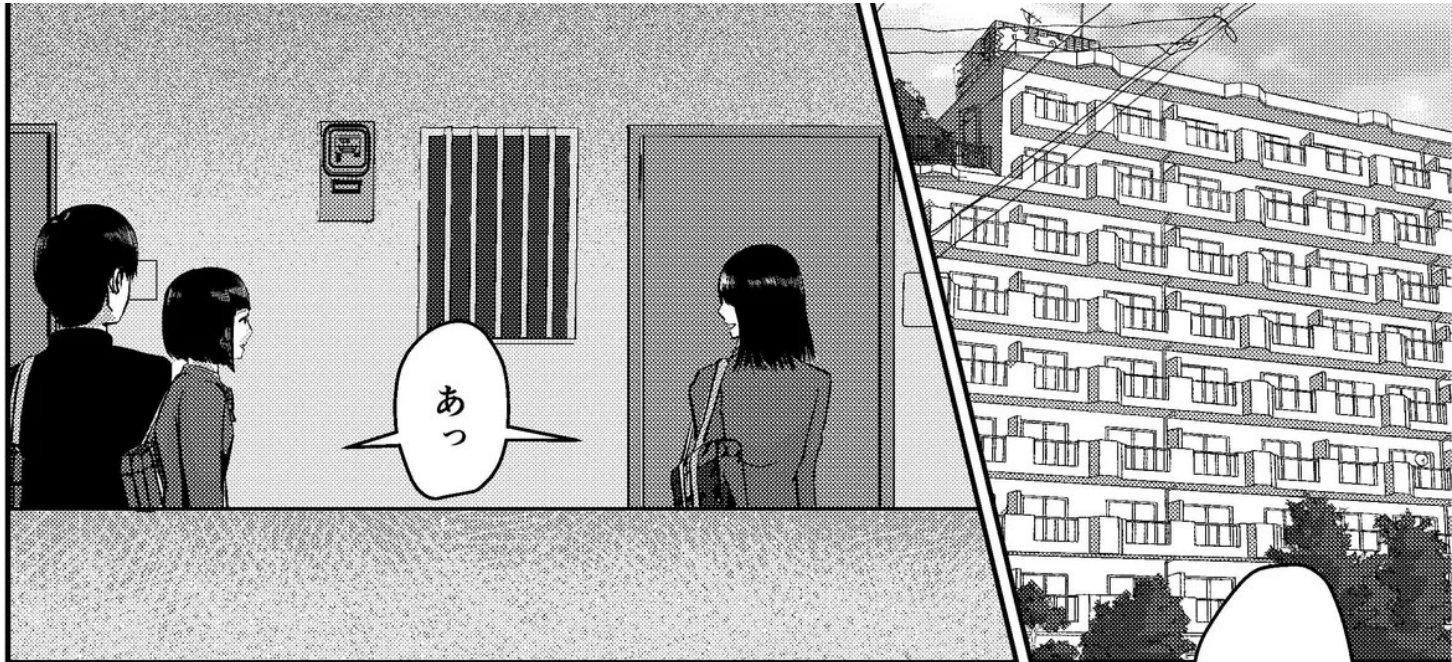
隣の部屋の先輩は
最高に気持ちいい

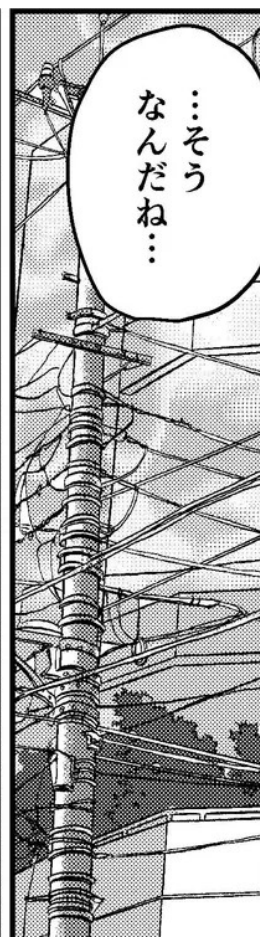
まんこで

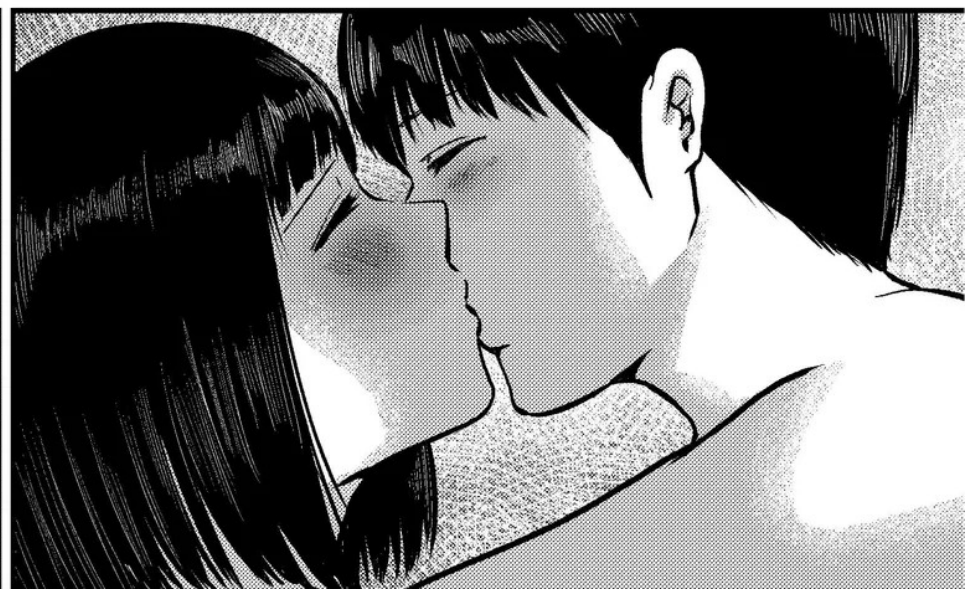
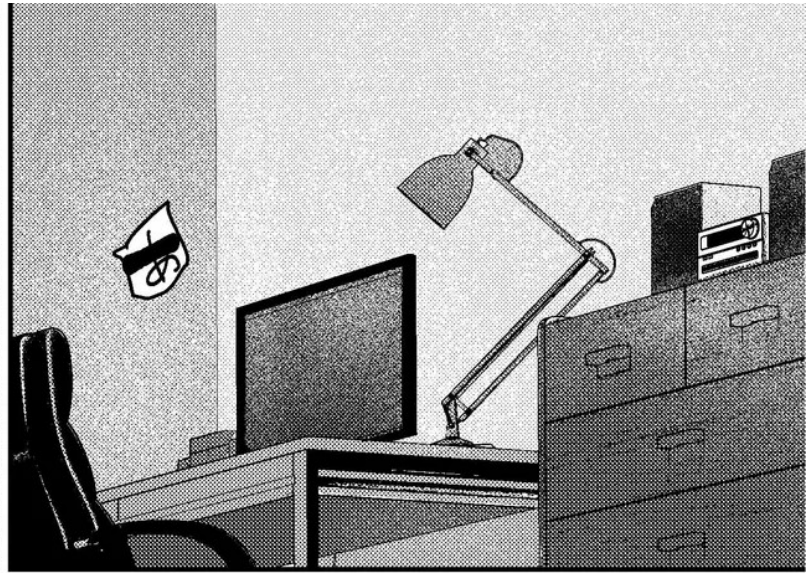
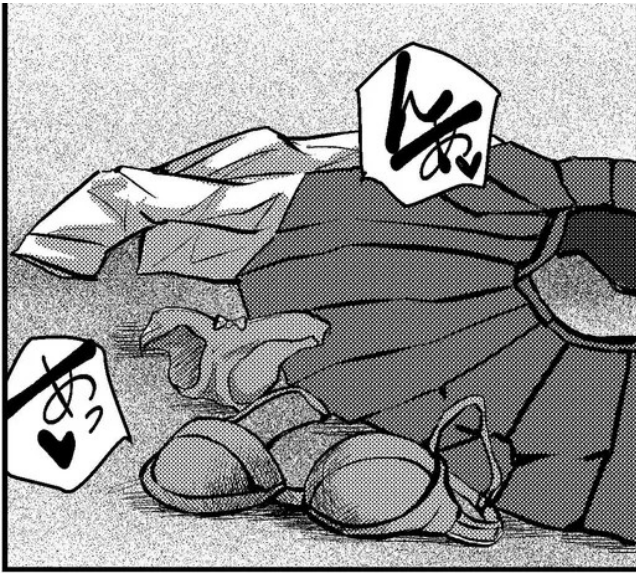
僕を寝取ろうと
してくる

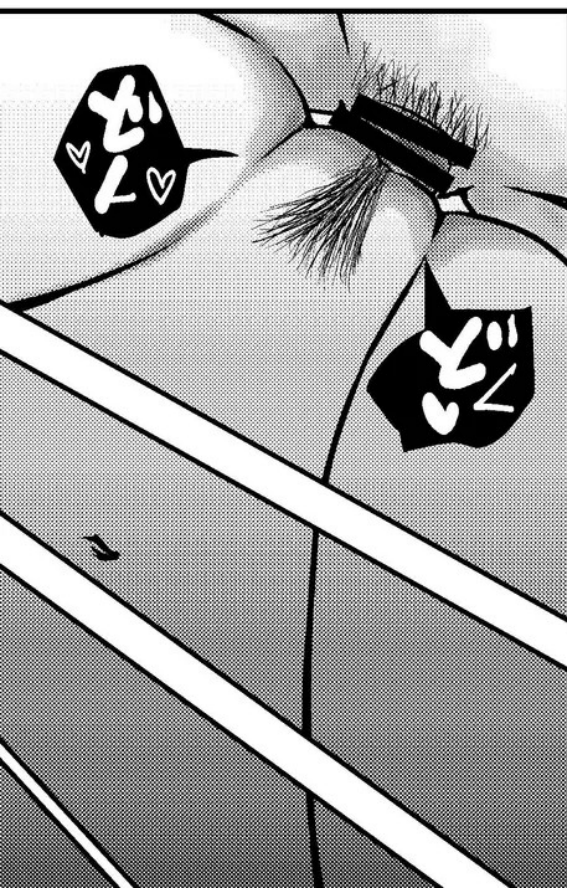
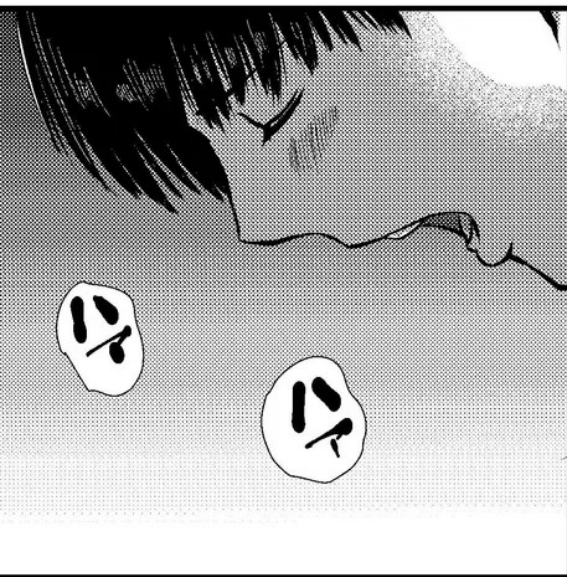


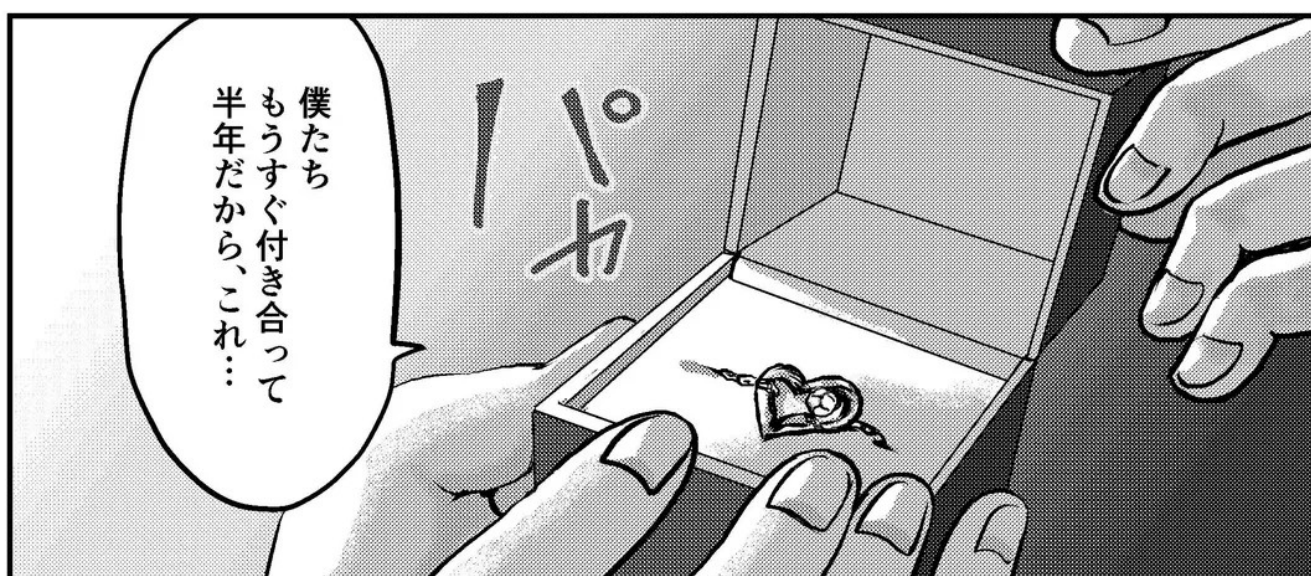


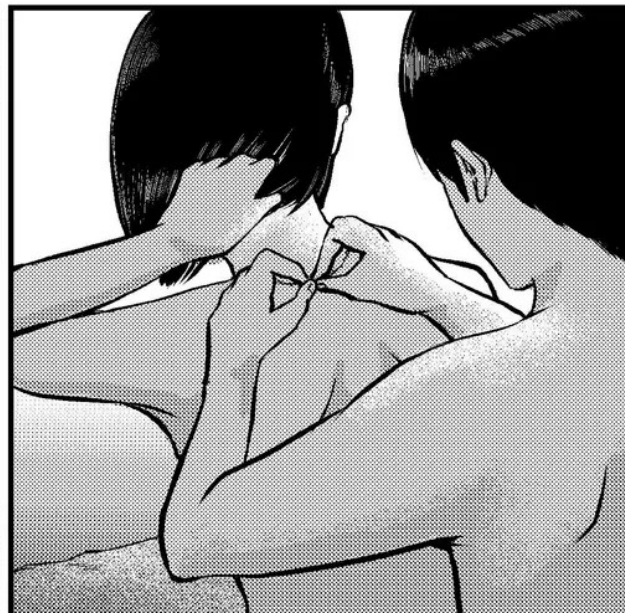
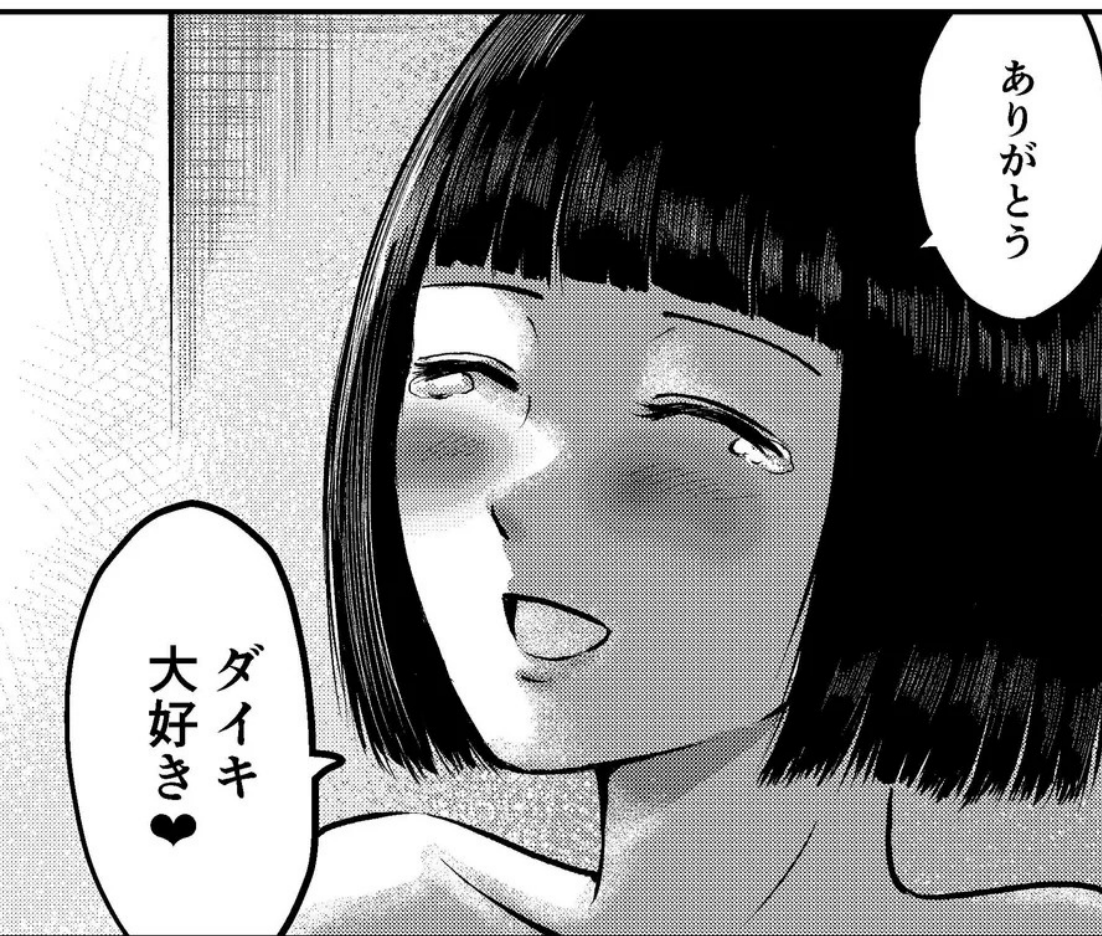


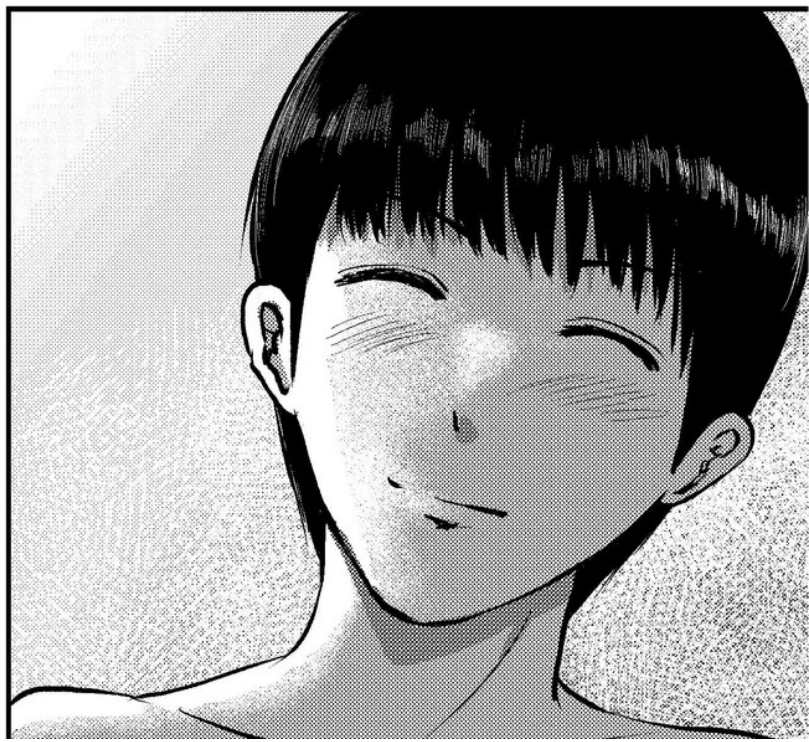
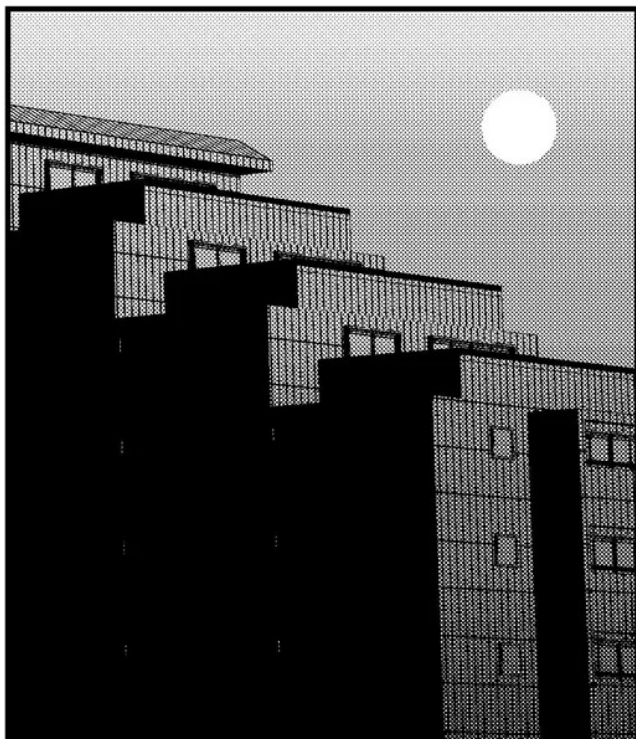








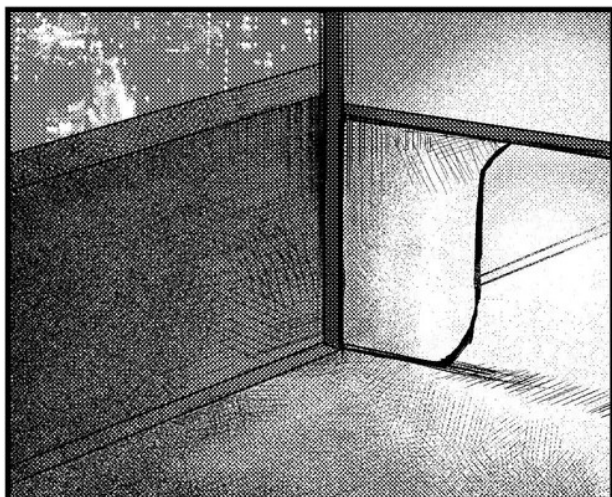








…こんばんは…



こんばんは♡



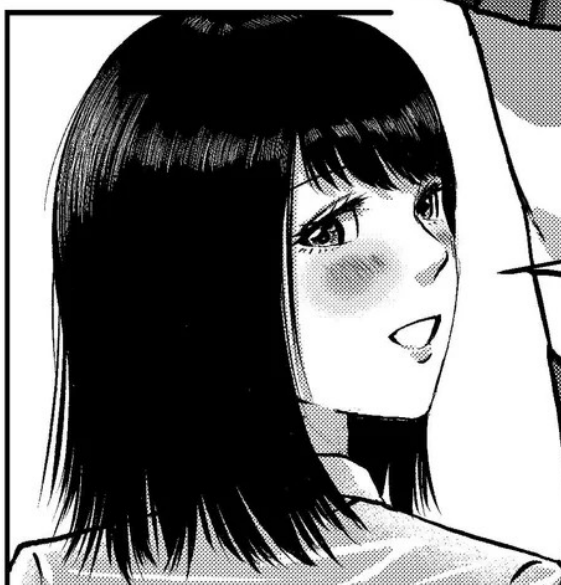
…す、すみません



今日も舞ちゃんと
Hなこと
してたでしょ？
隣の私の部屋まで
声が聞こえてたよ



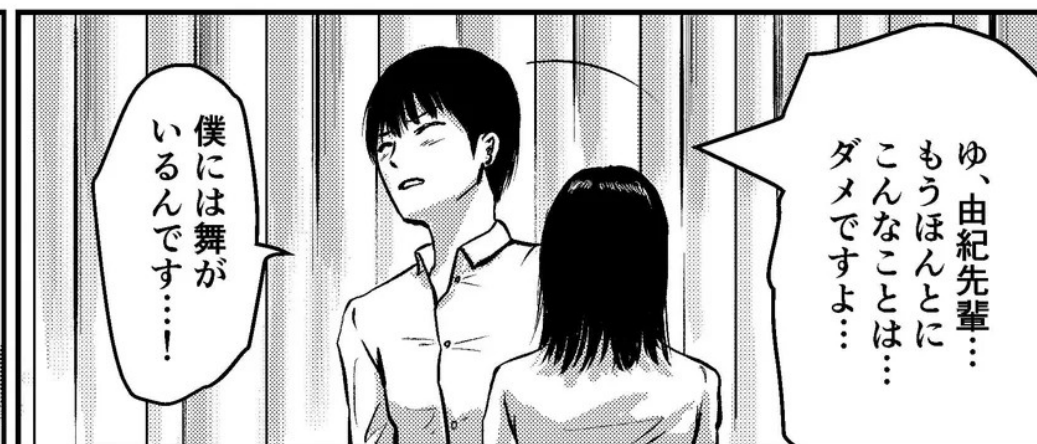
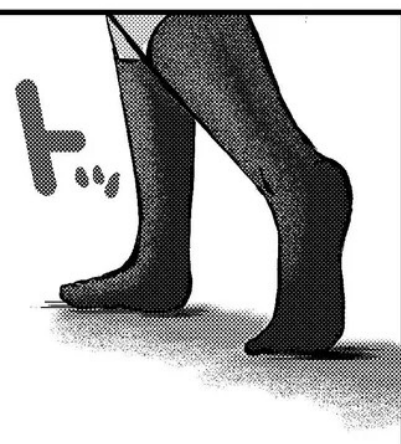
見て…



でも、しょうがないよね…
ダイキ君のおちんちん
すごく気持ちいいもん



舞ちゃんのHな声
聞いてたら
こんなになっちゃった…



ゆ、由紀先輩…
もうほんとに
こんなことは…
ダメですよ…

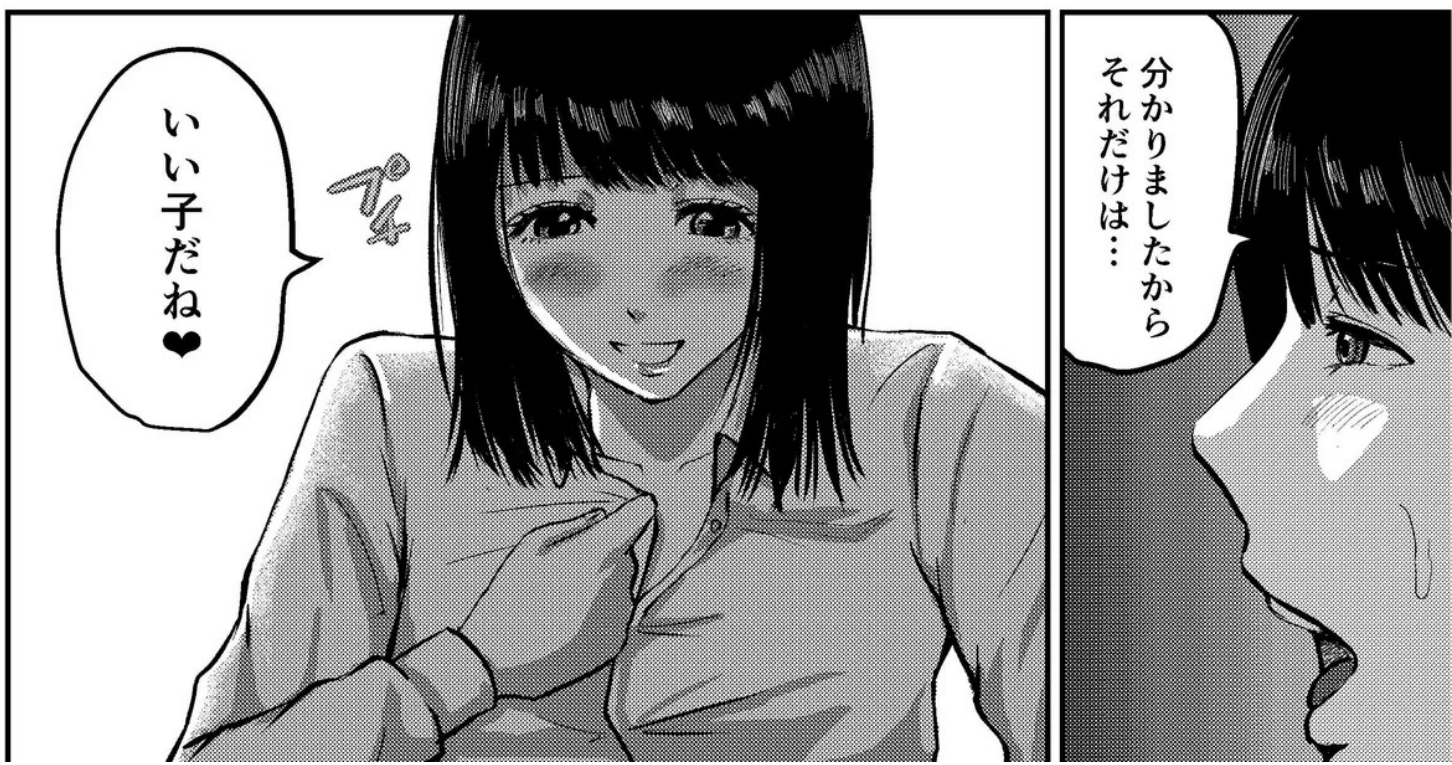
僕には舞が
いるんです…!

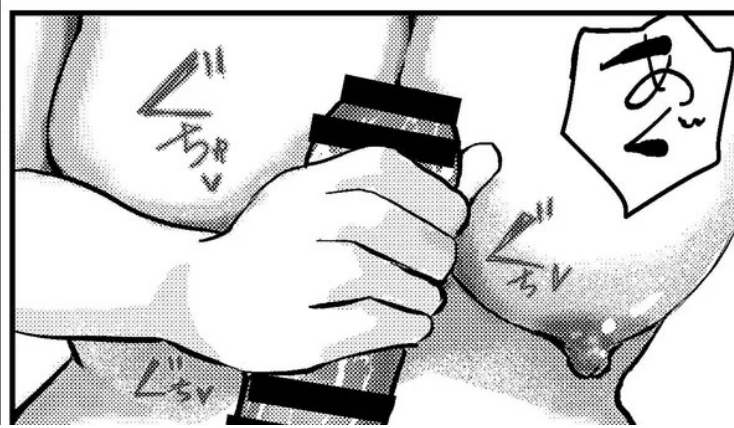


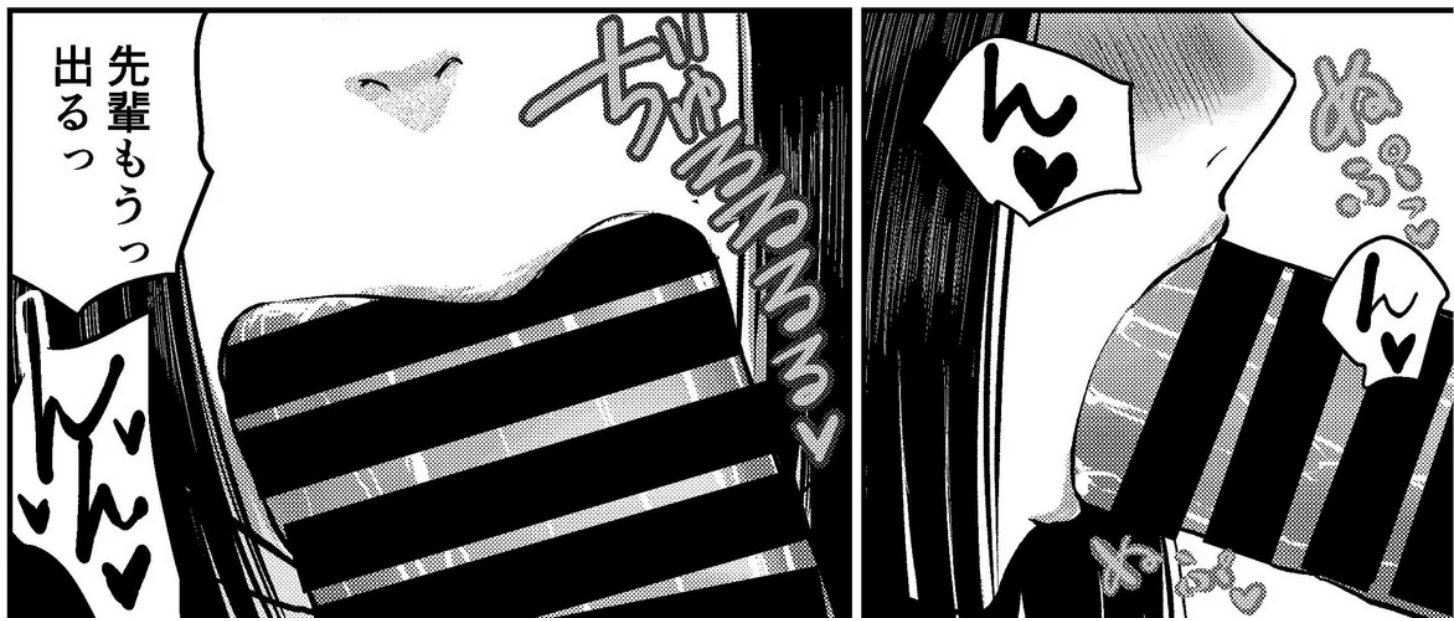
私は別に
ダイキ君に
彼女がいてもいいよ

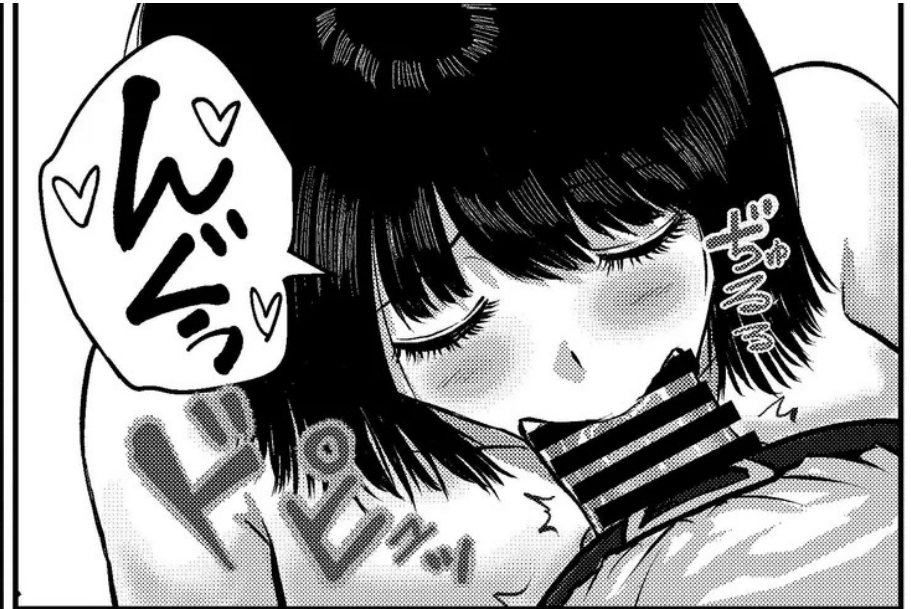
それに絶対に
他の人に言ったり
しないから、
舞ちゃんにバレる
こともないし

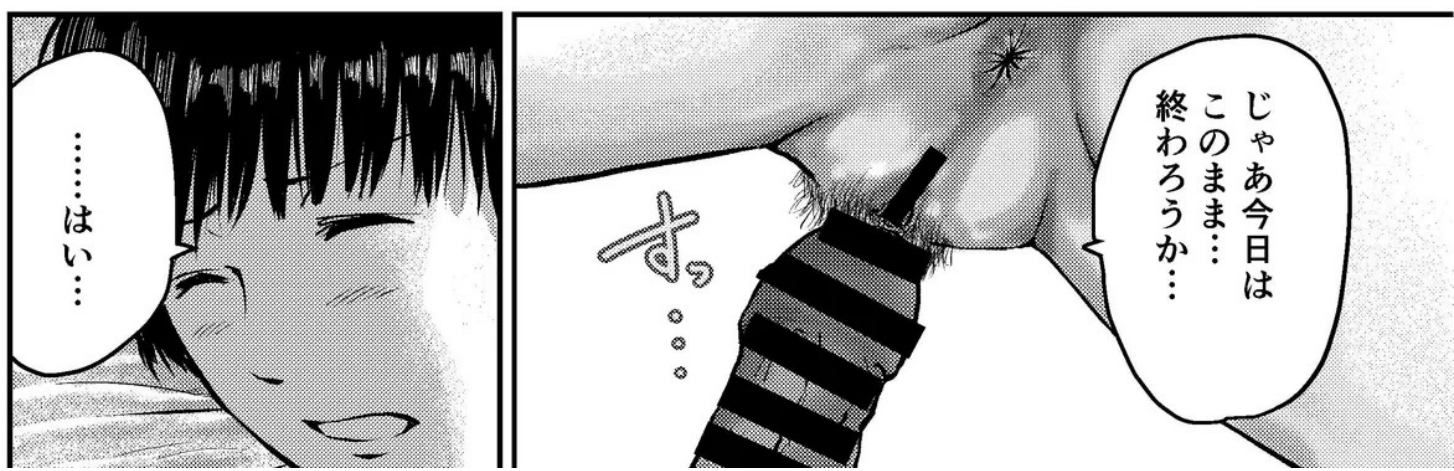
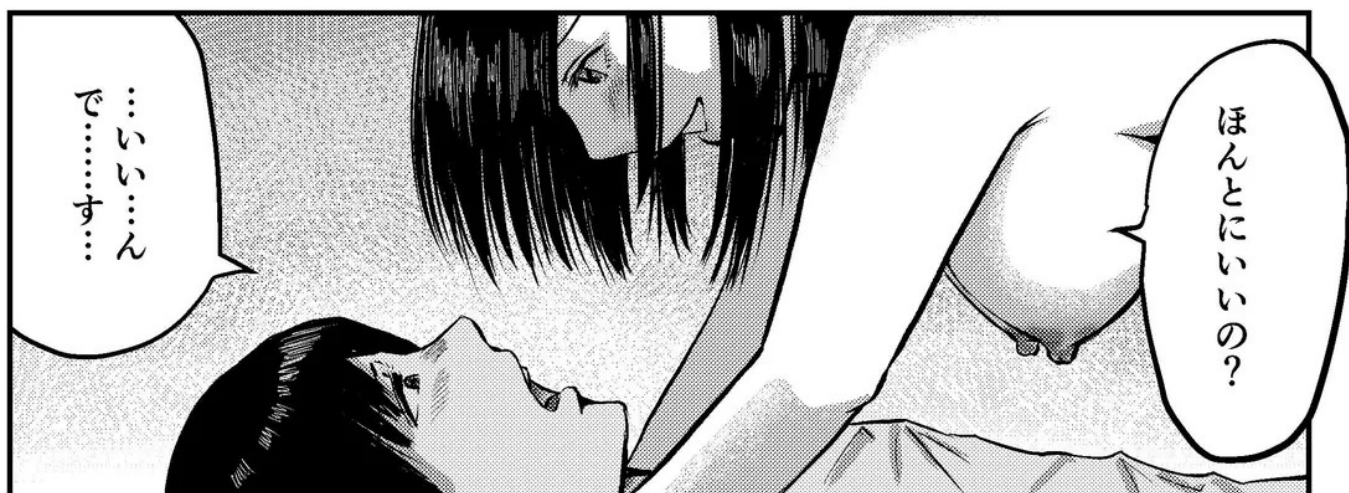
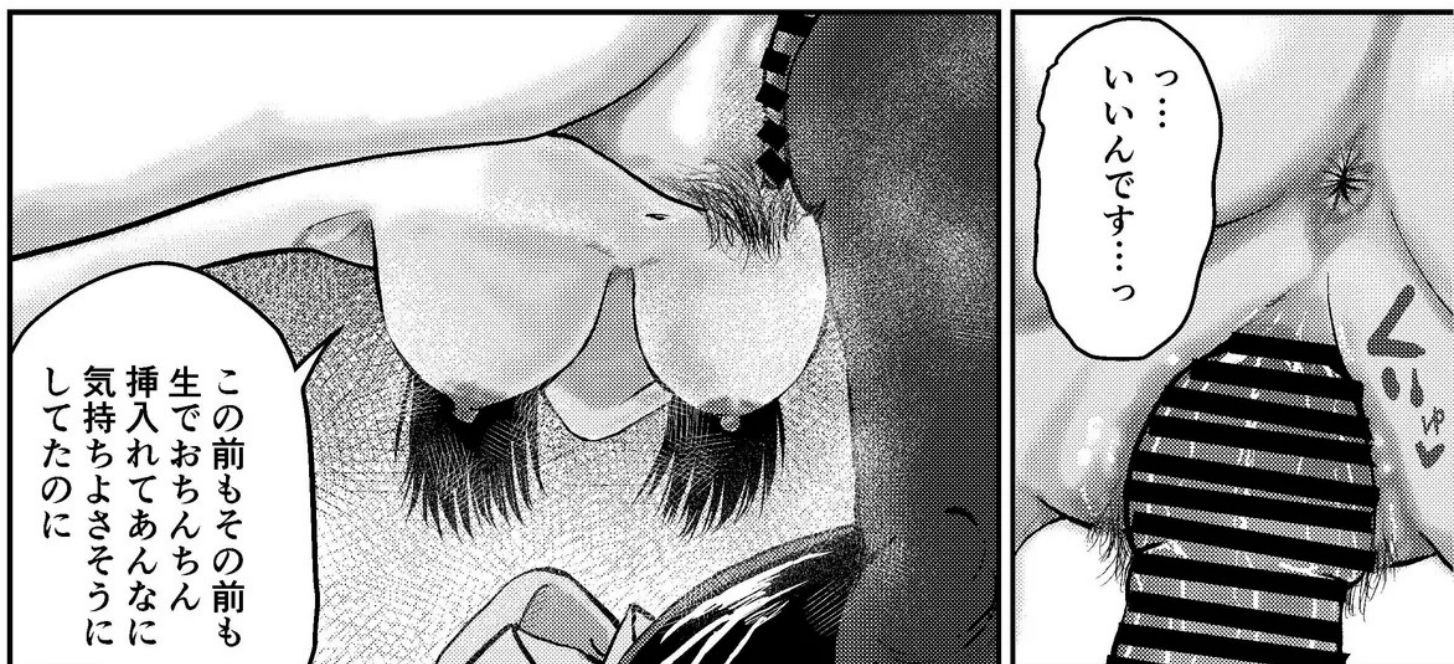
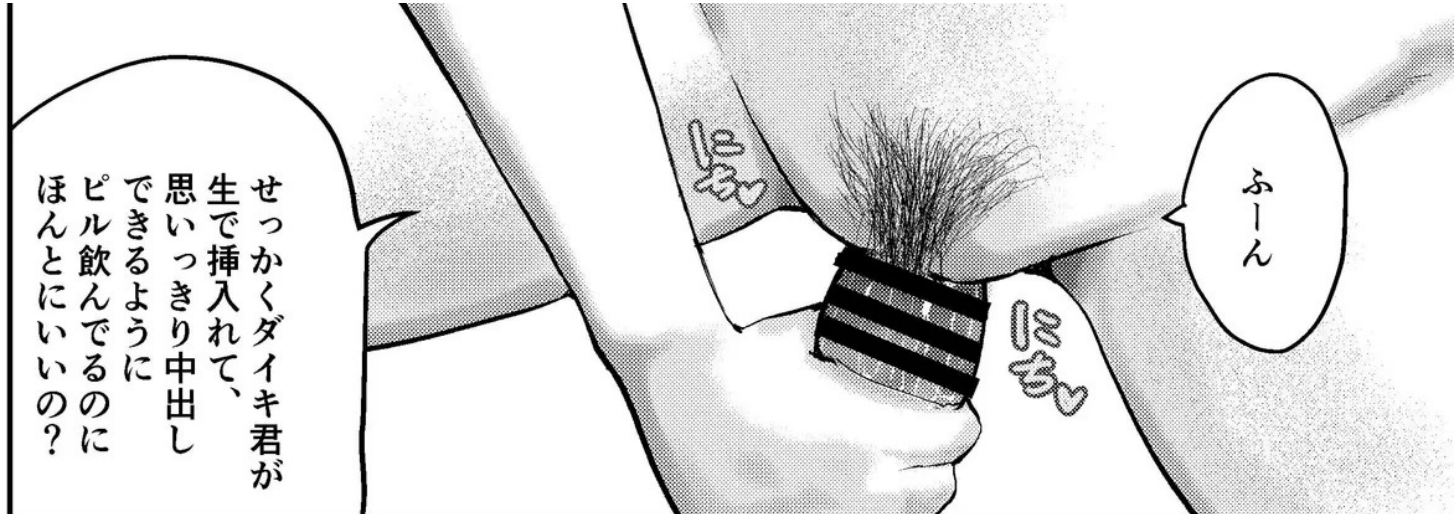
ドサッ













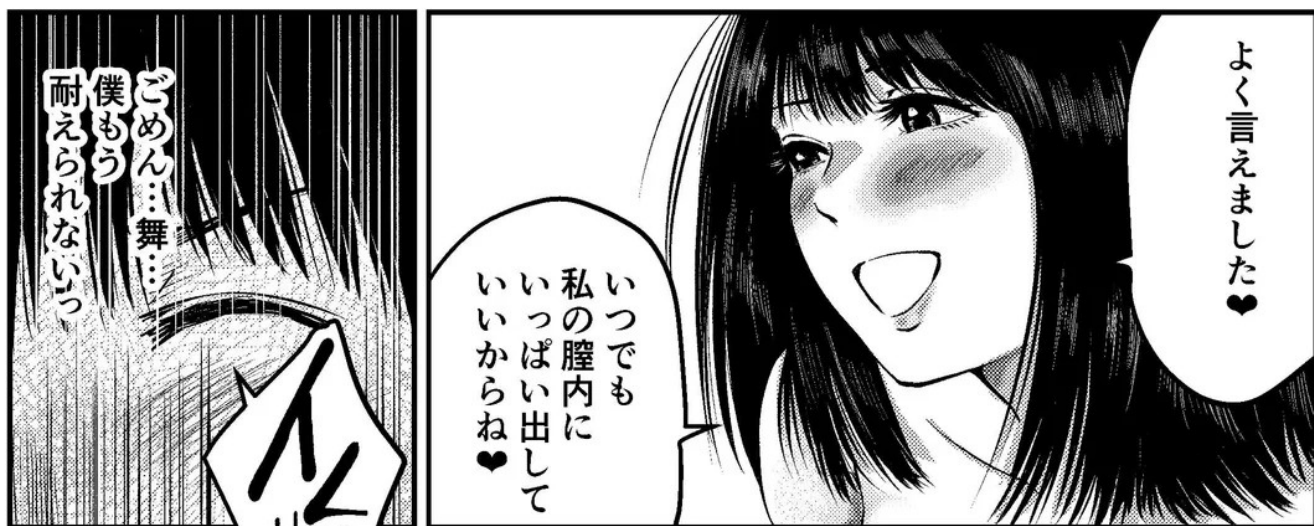






先輩のまんこ
最高に気持ち
いいですっ…！

とろとろで
締め付けてきて…
もうイキそうです！



よく言えました♡

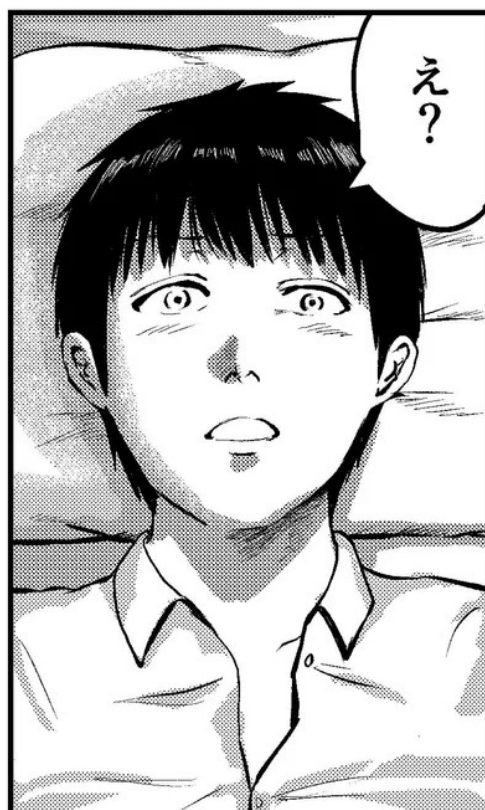
いつでも
私の膣内に
いっぱい出して
いいからね♡

ごめん…舞…
僕もう
耐えられないっ



ああっ♡

ビクッ
ビクッ







先輩のまんこ……
最高に気持ち
よすぎる……



ダイキ君……
大好きだよ♡



僕があの時もっと
気を付けていれば……



……舞……
……ごめん……





でも、こんなに
壊しちゃったのは
私だから…

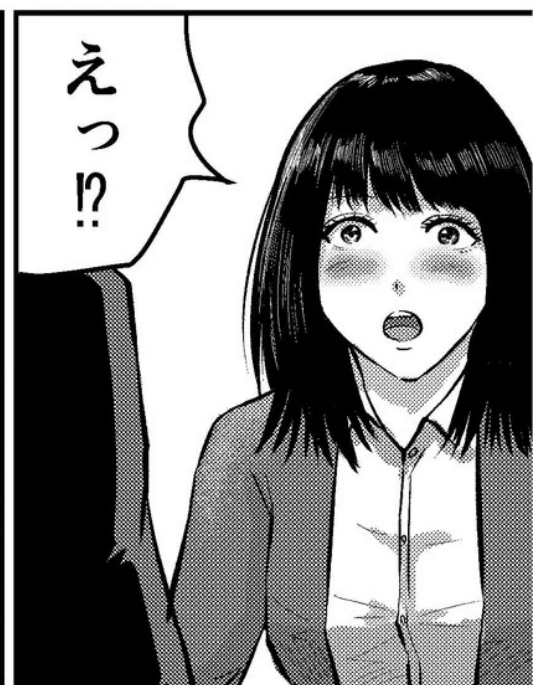


実は…この仕切り
もともとちょっと
壊れてたので…
先輩のせいじゃ
ないですから…

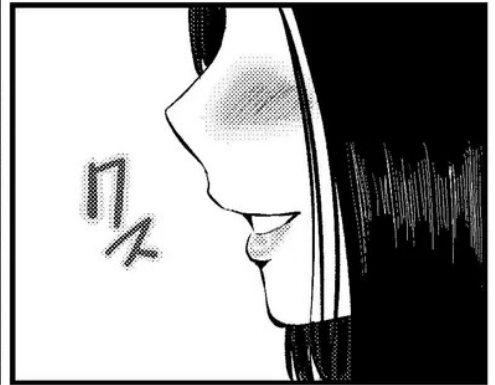
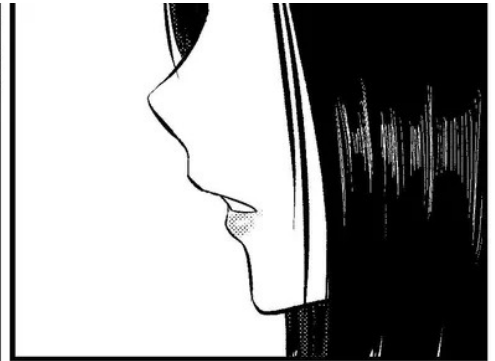


これで…
僕のせいですから…

泣かないで
ください



えっ!?





先輩……
まんこ
舐めるんで……
足広げて下さい

また？
最近なんだか
いっつも私のこと
気持ちよくさせようと
してくれてるね♡

……早く先輩に
満足して
もらわないと
浮気が終わらない
からですよ……

そう……
必死に先輩の
まんこを舐めるのも……

あぁ♡

ん♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

♡ちゅ♡
♡キ♡
♡ん♡

あぁ♡

ん♡



何度も何度も
先輩のまんこに
中出しするために
腰を振るのも…



全部先輩を満足させて
浮気セックスの時間を
少しでも短くする
ためなんだ…!!



僕が愛しているのは
舞だけなんだから…

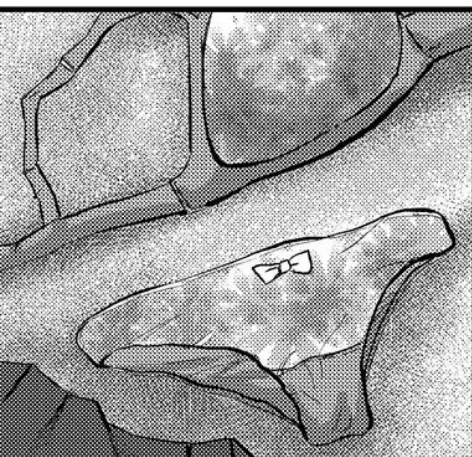
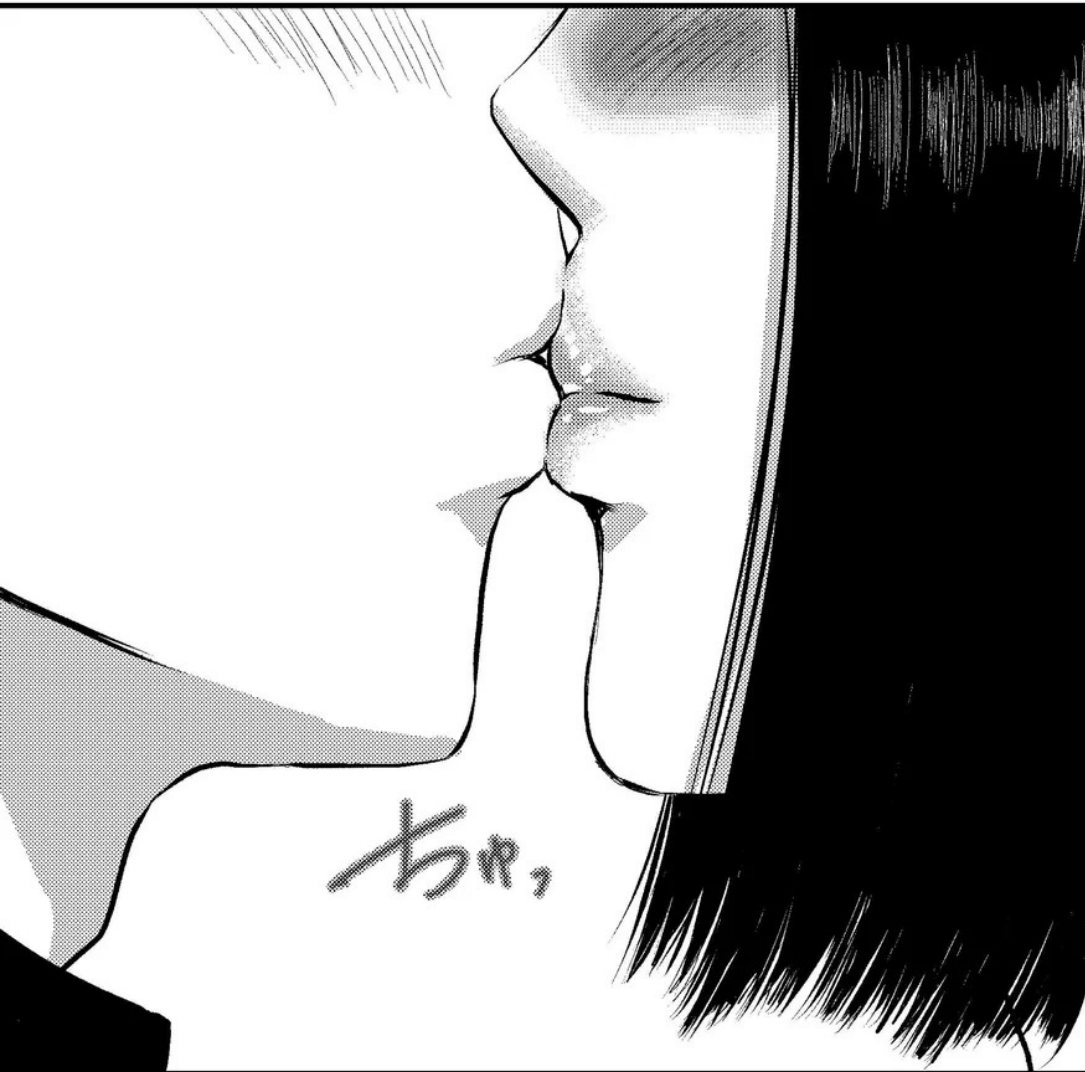
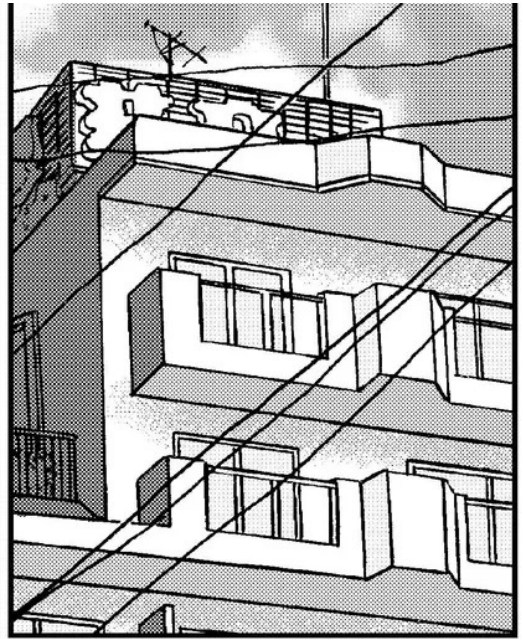
先輩っ

気持ち
いいっ



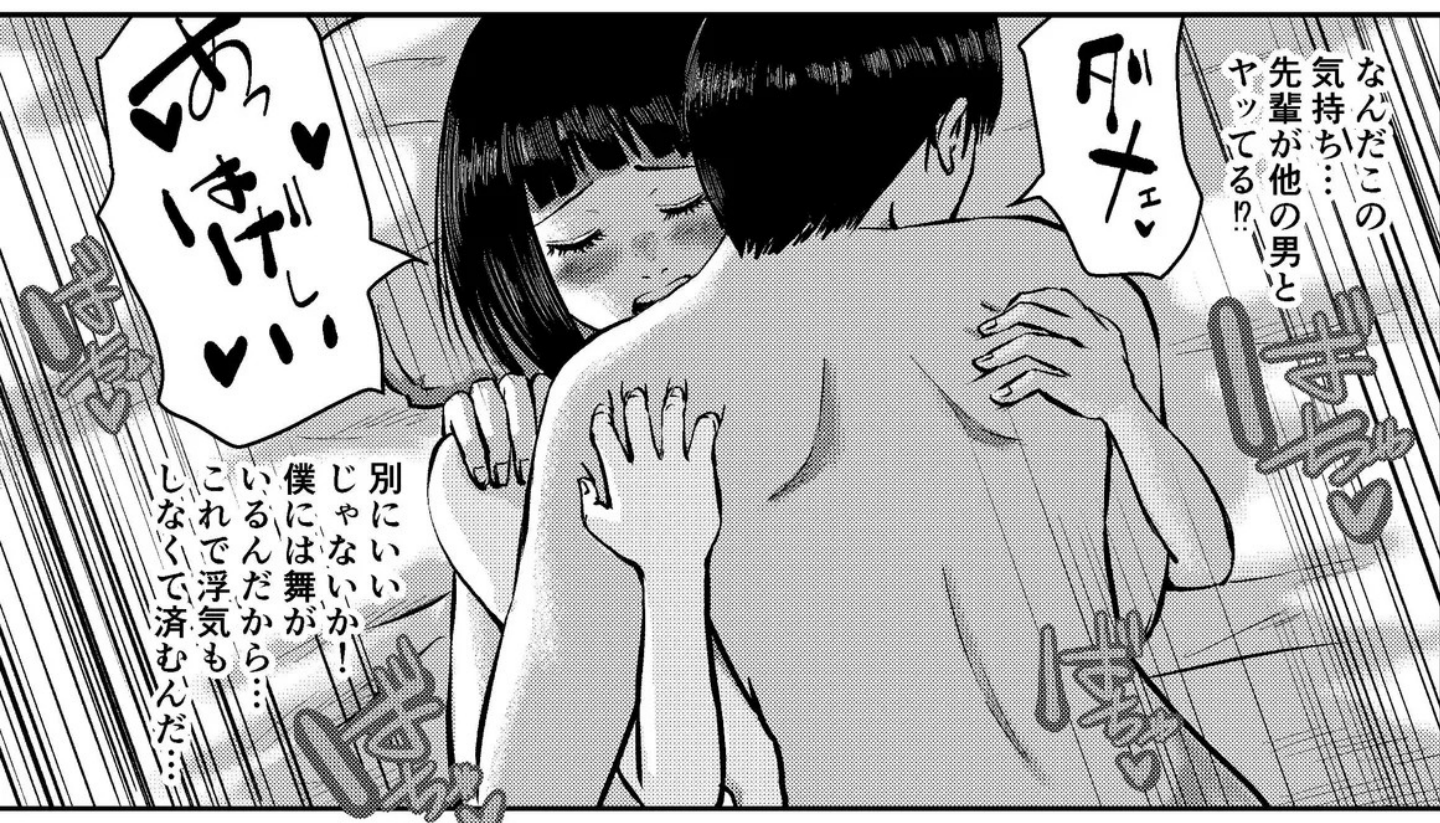
19:23

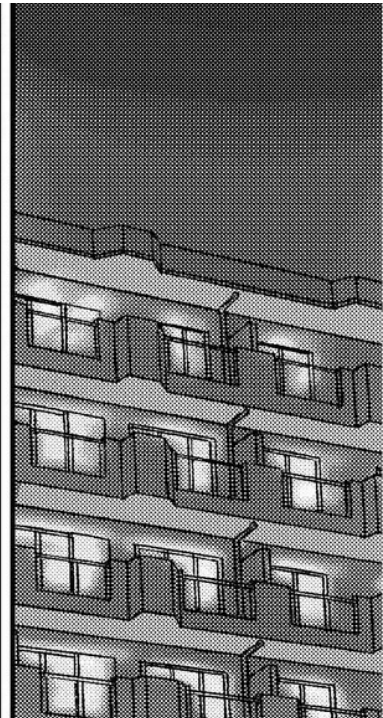
Maiからのメッセージです
今日もバイト?

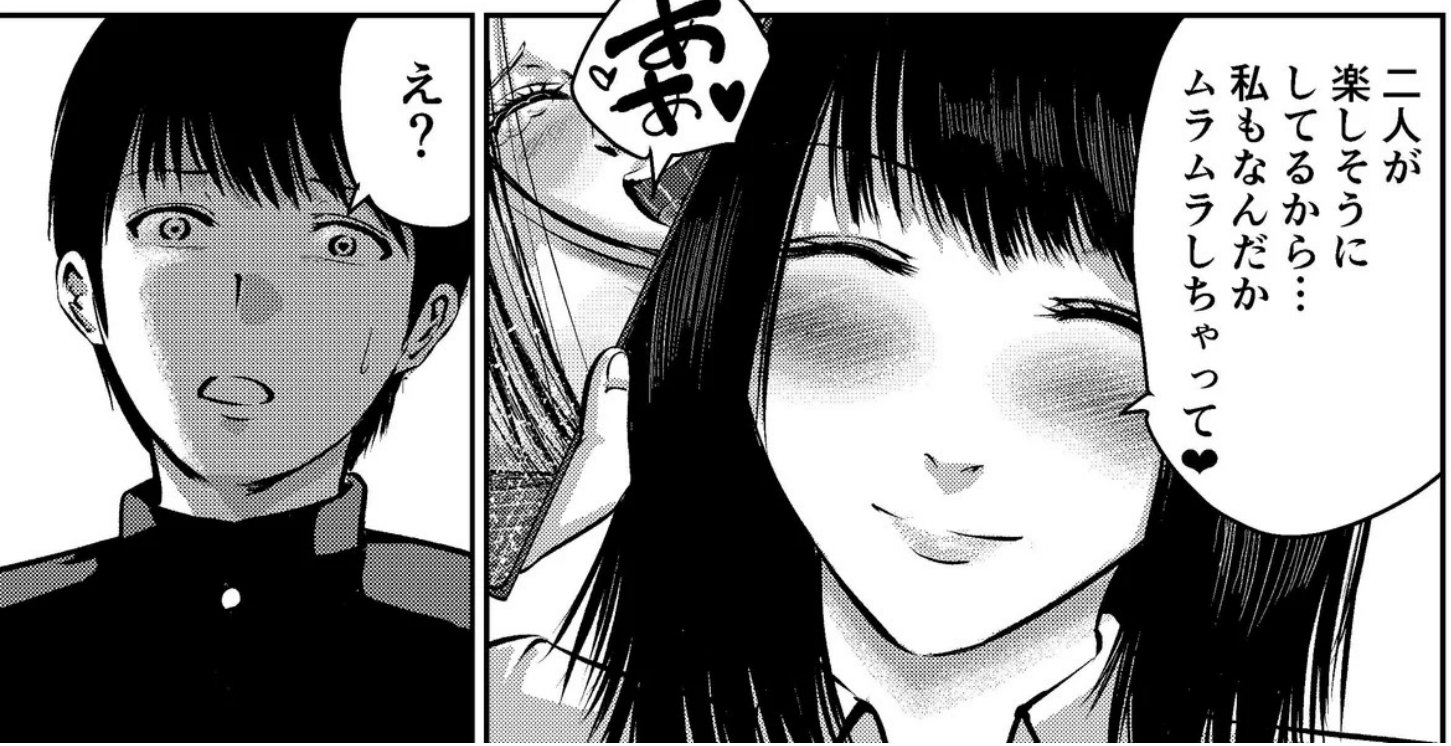




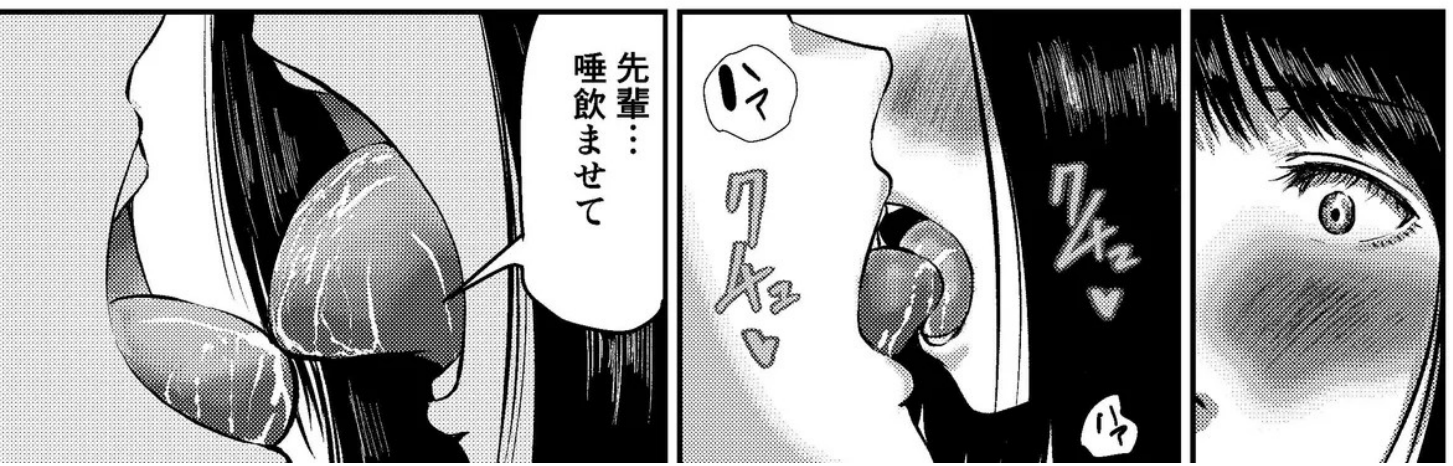














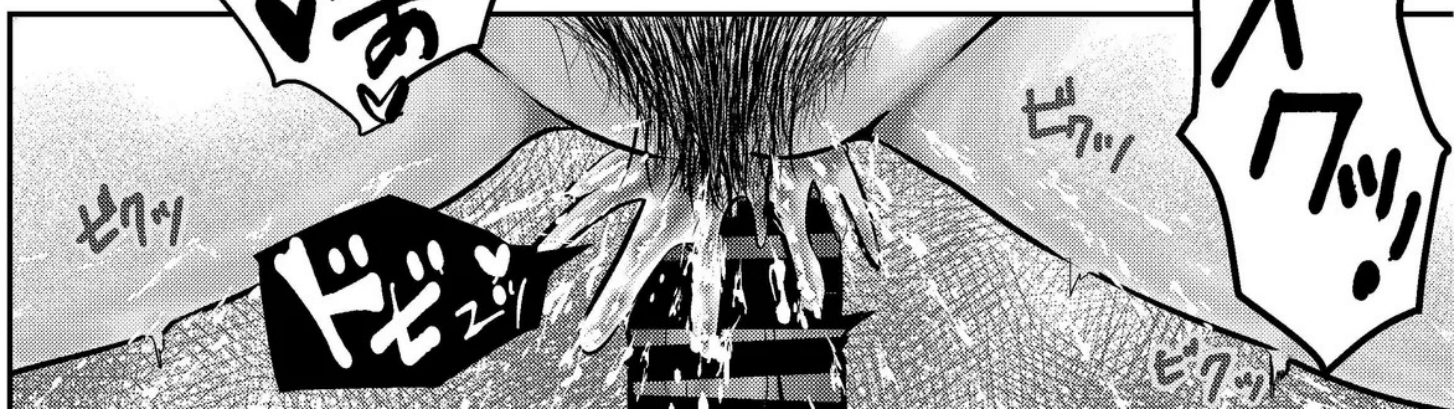




先輩：
今日はもう先輩の
まんこがいつぱいに
なるまで中出し
しますからね



おちんちんが
空っぽになるまで
搾り取ってあげる♡



あつ
待って!
ダメえ♡

膣内に出されてすぐ
続けてされたらっ♡
おまんこが…
ぐちゅぐちゅに
なっちゃうっ♡

あ♡
あ♡





舞：ごめん……
僕はもう……
先輩のことしか……

先令

あああああ♡

愛せない！

